

KPI進捗状況 ESG関連トピックス

(2021年度3Q)

積水ハウスグループの2021年度3Qにおける、マテリアリティ(重要課題)に向けた取り組みに関するKPI進捗状況と、ESG関連トピックスを公開いたします。

当社のグローバルビジョン『「わが家」を世界一幸せな場所にする』を達成するための柱の一つ、「ESG経営のリーディングカンパニー」を目指す取り組みの一つとして、定期的な情報開示を続けてまいります。

【集計データ期間】 2021年8月1日～2021年10月31日(2021年度3Q)

【開示内容】 KPI進捗状況、ESG関連トピックス

2021年12月10日

積水ハウス株式会社

マテリアリティへの取り組みに向けたテーマ・KPI

2021年10月末時点

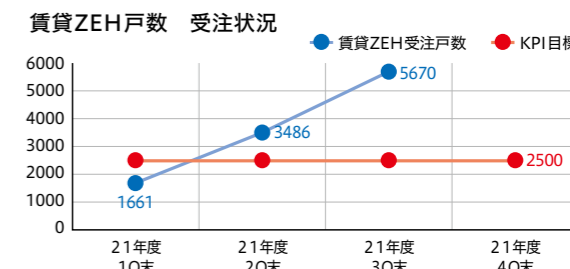
マテリアリティへの取り組み	取り組みテーマ	NO	KPI	単位	2020年度実績	2021年度2Q実績	2021年度3Q実績	2021年度目標	2022年度目標
脱炭素社会を先導する	居住段階の脱炭素化	1	戸建ZEH比率	%	91%	90%	89%	89%	90%
		2	賃貸ZEH戸数	戸	2976戸	3486戸	5670戸	1800戸	2500戸
		3	分譲マンションZEH戸数	戸	32戸	0戸	17戸	196戸	540戸
		4	いどころ暖熱戸数	戸	1005戸	727戸	1014戸	1200戸	1250戸
		5	新築住宅からのCO ₂ 排出削減率	%	55%	※1		2030年までに45%削減	
	事業活動の脱炭素化	6	事業活動からのCO ₂ 排出削減率	%	21%	※1		2030年までに50%削減	
		7	RE100進捗率	%	16.4%	※1		25%	35%
	サプライチェーンの脱炭素化	8	サプライヤー SBT目標設定率	%	18.6%	※1		2030年までに80%	
「住」の可能性を追求する	お客様満足の追求	9	戸建お客様満足度	%	96.1%	96.1%	—	95%以上	95%以上
		10	賃貸入居率	%	97.7%	98.0%	98.0%	95%以上	95%以上
	ハード・ソフト・サービスの提案	11	ハード・ソフト・サービスの新たな提案	—	[「おうちで住まいづくり」] [「スマートイクス」]の発売	※1		—	—
		12	人生100年時代の幸せをアシストする、プラットフォームハウス構想の推進	—	「HED-Net」 実証実験の開始	—	[「PLATFORM HOUSE touch」] の販売を開始	—	—
地域社会と共生する	地方創生、社会貢献活動	13	地方創生事業「TripBase道の駅PJ」の推進	—	4府県8施設596室	5府県14施設1053室	—	5府県14施設1053室	7都道府県18施設1410室
		14	積水ハウスマッチングプログラム会員率	%	27%	※1		30%	40%
	社会資産の形成	15	戸建レジデンス評価	%	—	65.5%	66.7%	50%以上	—
		16	シャーマゾンガーデンズ	%	—	52.5%	—	50%以上	—
多様なチカラを結集する	ダイバーシティ & インクルージョン	17	女性取締役人数 ※2	人	1人	3人	3人	3人	3人以上
		18	女性管理職人数・比率 ※3	人	239	271	—	240	260
				%	3.83%	4.21%	—	—	
	19	障がい者雇用率 ※2	%	2.76%	2.87%	2.87%	2.61%	2.61%	
	働き方改革	20	男性の育児休業取得率 ※2	%	100%	100%	100%	100%	100%
		21	1人当たり月平均総労働時間 ※2	時間	176.71	181.98	178.32	176	175.5
		22	二次健康診断受診率	%	87%	※1		89%	90%
	健康経営	23	施工部門の休業災害度数率	—	2.17	※1		2.15	2.13
労働安全衛生	24	CSR調達人権・労働スコア	ポイント	90.1	※1		90.4	90.9	
サプライチェーンの人権・働き方	25	独立社外取締役の比率	%	33.3%	40.0%	40.0%	40.0%	40%以上	
コーポレートガバナンス	事業マネジメント層のインテグリティ向上とグループガバナンス体制の強化	26	インテグリティ研修の受講状況	—	97%(74名/76名中)	グループ役員・職責者 36.8%受講	—	グループ役員・職責者 1/2以上受講	グループ役員・職責者 全員受講
		27	ガバナンス戦略シートの取り組み	—	積水ハウス総務長 運用(総計121名)	グループ総務責任者 運用(総計228名)	—	グループ総務責任者 運用(総計223名)	ガバナンス戦略シート 取り組み率90%
	従業員コミュニケーションの向上	28	ESG対話の実施	—	積水ハウス職責者	グループ職責者 100%	—	積水ハウス従業員 グループ職責者	グループ従業員

※1 通期で集計し開示予定 ※2 単体 ※3 グループ全体

【脱炭素社会へ向けた取り組み】

当社の賃貸住宅「シャーマゾン」の居住の快適性に加え、光熱費の削減、脱炭素の取り組みにもつながる賃貸ZEH。3Q終了時点で、2021年度累計5,670戸(2Q比較:2,184戸の増加)と、脱炭素社会を先導する取り組みとして、賃貸住宅(シャーマゾン)ZEHの受注戸数が順調に伸びています。

温室効果ガス実質排出量ゼロを目指す国際的キャンペーン「Race to Zero」への参加や、2023年度には分譲マンション「グランドメゾン」でも、全建物でのZEHの標準化に向けた取り組みを行うことを発表いたしました。今後も脱炭素に向けた取り組みを加速させてまいります。



【Trip Base 道の駅プロジェクト セカンドステージへ】

このプロジェクトは「未知なるニッポンをクエストしよう」をコンセプトに、地域や自治体、パートナー企業とともに、観光事業を起点に地域経済の活性化を目指す地方創生事業です。

その拠点となるホテル開業を、1stステージとして2022年3月までに、6府県15施設1152室(開業累積数)を開業予定です。

さらなる推進に向けたセカンドステージとして、8道県14カ所で1184室のホテルを2022年春より順次開業する計画が始動いたしました。

地方創生事業の取り組みを推進し、地域コミュニティの更なる幸せへとつなげてまいります。

ESG関連ニュース サマリー (2021年度3Q)

